【基本情報】

教　　科	情報	学　年	普通科 ３年 選択	教科書	なし
科　　目	表現メディアの編集と表現	単位数 (年間予定コマ数)	２ (64)	副教材	なし

科 目 概 要	コンピュータによる表現メディアの編集と表現に関する知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を育てる。
到 達 目 標	１．表現メディアの種類と特性、活用法を学ぶ。 ２．目的や状況を具体的に想定した作品を制作し、評価・改善を行う。
授業の進め方	・実習を中心に進めます。
留 意 事 項	①授業中は遠慮無く質問をすること。 ②何か失敗したと思ったら必ず申し出ること。 ③パソコンのトラブル等があれば速やかに報告すること。
家 庭 学 習	・アプリケーションソフトを使ってやってみたいことが具体的にある方が技術の向上は早いものです。こんなものを作ってみたいと普段からいろんなものに関心をもちましょう。 ・テレビやインターネットのＣＭを制作サイドの目線で見てみるなどして、作成してみたいものを想像してしてみるのもいい勉強になると思います。
備　　考	下記の４観点を１００点の評価点で換算し、評価をつけます。 おおよそ評価点により次のように評価をします。 ～５０点「１」　５０～６０「２」　６０～７５「３」７５～９０「４」　９０～「５」

【評価の方法】

観　点	ポイント	割　合	評価の観点
Ａ．関心・意欲・態度	授業に臨む態度(PC 周りの整理整頓を含む)等で評価します。	２０％	情報の各分野に関する諸課題について関心をもち、その改善･向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
Ｂ．思考・判断・表現	実習で作成したデータ、提出物等で評価します。	３０％	情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的･基本的な知識と技術を基に，情報産業に携わる者として適切に判断し，表現する創造的な能力を身に付けている。
Ｃ．技能	実習での普段の取り組みを含めて、作成したデータ等で評価します。	３０％	情報の各分野に関する基礎的･基本的な技術を身に付け，情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に活用している。
Ｄ．知識・理解	基本的に実技試験で評価します。	２０％	情報の各分野に関する基礎的･基本的な知識を身に付け，現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。
Ｅ．		％	

【年間計画】

単　元	配当時数	学習内容	観点別評価					到達目標
			Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	
表現メディアの種類と特性	１６	表現メディアの種類や特性及びディジタル化に関する基礎的な知識を学びます。	○	○	○	○		学習した知識と技術を利用して、作品を作ることができる。
コンピュータグラフィックスの制作	１６	コンピュータグラフィックスの編集や表現に関する基礎的な知識と技術を学びます。	○	○	○	○		
音・音楽の編集と表現	１６	音及び音楽の編集に関する基礎的な知識と技術を学びます。	○	○	○	○		左の学習内容を応用して、作品を期限内に作成する。
映像の編集と表現	１６	映像の編集や表現に関する基礎的な知識と技術を学びます。	○	○	○	○		
年間総予定授業コマ数	６４							

※このシラバスは、あくまで予定を示したもので、状況により時間配分や内容などを変更することがある。